

令和2年度第5号(9月号)

農林高校だより

ホットな情報を知りたい場合は↓

「下高井農林高等学校」を検索

<http://www.nagano-c.ed.jp/nourinn/>

TEL 0269-82-3115 (代)

グリーンデザイン科森林活用コース 活動紹介

森林活用コースでは、林業に関する基本的な知識や技術の習得はもちろんのこと、SDGsの観点から物事を考え、自分たちにできる地域貢献を実践しています。

★木育活動の実践



森林活用コースでは、昨年度より木製のおもちゃを制作して地元保育園に寄贈するとともに、年長さんとの交流の中で「木育活動」に取り組んでいます。玩具に使用した木材は、昨年はホームセンターなどで販売されている外材でしたが、今年度は地元の森林に目を向けてほしいと考え、北信地域の木材を使用することにしました。また、制作物についても保育士の方々に利用頻度などの調査に協力いただき、毎日のように遊べる「屋台」と、木の周りに配置する「八角形のベンチ」とし、制作に励んでいます。

地元の木を使用した「屋台」等を完成させるためには、材木を板にする製材から始めなければならず、かなりの時間を要します。また、様々な機械を使用するには、資格の取得とともに安全に機械を操作できる環境整備など、様々な準備が必要となります。そのため、今年度も同コース専攻生全員が、チェーンソーの取り扱いに関する「伐木等の業務特別教育」を修了するとともに、常に作業場所の整理・整頓に努め、安全確認の徹底を図っています。園児の皆さんに木の温もりを実感してもらった際の笑顔に接することを目標に、生徒は習得したものづくりの技術をフルに活用し、11月の完成を目指して精力的に制作に取り組んでいます。

また、8月に行われた中学生体験入学で体験いただいた、端材を利用した「エコ箸」づくりを、10月に開催される村内のこどもカフェにおいても参加者の皆さんに体験していただく予定です。



★高性能林業機械研修、伐木造材基礎研修への参加



北信地域振興局林務課や北信州森林組合の協力を賜り、今年度も研修会を開講いただきました。高性能林業機械研修では、伐倒した木を集材するスイングヤード、枝払いや玉切りができるプロセッサ、玉切りした材を集材・運搬するフォワーダの操作



を体験しました。操作ははじめてでしたが、講師の方々のご指導のおかげで、上手に作業することが出来ました。いずれの機械も大型で、木材をいとも簡単に集材・玉切り・運搬することができることに、生徒は大変感心していました。

伐木造材基礎研修では、この地域特有の根曲部分を使ってチェーンソーアートに挑戦しました。チェーンソーの取扱いの基本から学んだ後、制作に挑戦しました。最初はチェーンソーの取扱いに必要以上に慎重になっていましたが、時間が経過することに学んだ技術を活かして軽快なエンジン音を森の中に響かせ、半日かけて一人一作品を完成させました。

